



# なばり

2019年（令和元年）6月25日発行

主な内容

- 1～2……ハザードマップ・避難を呼び掛ける5段階の警戒レベル
- 3～4……市長への手紙
- 5……熱中症対策
- 6……夏休み教室
- 7……二次救急実施病院
- 8……市民活動支援センター

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

市内11地域で更新！  
台風シーズン前に家庭で確認！

## 「ハザードマップ」

近年、局地的な大雨や土砂災害が全国で数多く発生しています。今号では、ハザードマップの見方を再確認するとともに、今年から運用が始まった災害危険度を5段階で示す警戒レベル情報について紹介。台風シーズン到来前に、各家庭で防災意識を高めましょう。  
☎ 危機管理室 ☎ 63-7271



■ ハザードマップとは…

洪水や土砂災害が起きたとき、どこが危険かを予測した地図です。災害の恐れがある区域を掲載しているほか、▼災害情報の入手方法 ▼避難時の心得 ▼避難場所などの情報を掲載しています。

### ■ マップ活用のポイント

- ▼土砂災害危険箇所や洪水浸水想定区域などの範囲を確認しましょう。
- ▼最寄りの避難所と経路を確認しましょう。また、その経路に危険な箇所がないかも確認を。
- ▼マップの情報を家族で共有し、各家庭で災害に備えましょう。



「防災意識」を高めましょう。  
ハザードマップを活用して、

### 土砂災害に注意してください！

「土砂災害危険箇所」または「土砂災害警戒区域等」の情報をマップに掲載。いずれも、大雨の際に崩れる可能性があり、人家などに危険が生じる恐れがある場所です。

### ⚠️ 災害時に開設する避難所について ⚠️

マップに掲載している避難所は災害時に必ず開設するとは限りません。被害状況に応じて避難場所は異なります。災害時には市が発信する避難情報などに注意してください。



### ため池の浸水区域情報も掲載

今回更新したマップから、ため池ハザードマップ浸水区域の情報も掲載しています。

### 大雨の時は河川の氾濫に注意

「洪水浸水想定区域」は、想定し得る最大規模の雨が降ったときにどれだけ浸水するか水深を色別で表したものです。大雨のときなどは、災害情報に注意し、早めに避難しましょう。



2ページ「避難するタイミングを5段階で呼び掛けます」へ続く

ハザードマップを更新した11地域 名張、蔵持、川西・梅が丘、薦原、比奈知、つつじが丘・春日丘、錦生、赤目、箕曲、青蓮寺・百合が丘、国津（鴻之台・希央台、すずらん台、美旗、桔梗が丘は、土砂災害危険箇所などに変更がないため更新していません）

## 「自らの命は自らが守る」という意識が災害時には重要です

「緊急性が分からなかった」「突然のことで動けなかった」などの声もありました。災害時には自分や家族を守るためにも、正しい情報の入手とその後の適切な避難行動が重要です。「自らの命は自らが守る」という意識を持って「いざというときに備えてください。」



平成29年台風第21号上陸時、宇陀川周辺道路の一部が冠水しました。

今年もこれから台風が多く発生する季節に入ります。ハザードマップを活用して、改めて風水害への対策について確認しましょう。近年、100年に一度と言われるような大雨による水害・土砂災害が全国で発生しています。名張市でも平成29年の台風第21号の影響により観測史上最大の降水量を記録。幸いにも、人命に関わる被害はありませんでしたが、河川流域の市内6224世帯に避難勧告を発令しました。



危機管理室 室長 谷本 佳司